

令和4年9月6日
DX推進担当部
DX推進担当課

次期情報化基盤の検討状況について

主旨

次期情報化基盤については、本庁舎等整備やコロナ禍を契機に、世田谷区DX推進方針に基づき、職員がより効率的に働き、区民サービスに還元できるICT環境を目指し構築を進めている。

現行からの更改内容について、別紙のとおり報告する。

次期情報化基盤の 検討状況について

令和4年9月 DX推進担当部

1. 次期情報化基盤 更改内容のポイント(※令和4年9月時点)

(1) 事務用無線LAN環境の整備

- 事務用無線LAN環境を整備し、柔軟な働き方に対応
- 新庁舎(1期棟)は、令和5年8月から展開を予定
- 新庁舎(2期棟、3期棟)は、建物の竣工時に展開を予定
- 総合支所等は、令和5年度から順次、施設調査を実施し、展開に向けた諸課題について引き続き検討

(2) 新事務用端末の展開

- ペーパーレスの推進及びモバイルワークにも対応できる、持ち運び可能なモバイル型の端末を導入
- VDI起動の手間を削減し、職員の効率的な働き方に寄与
- 令和5年1月から順次、展開を予定

(3) 手早いインターネット接続/メール送受信

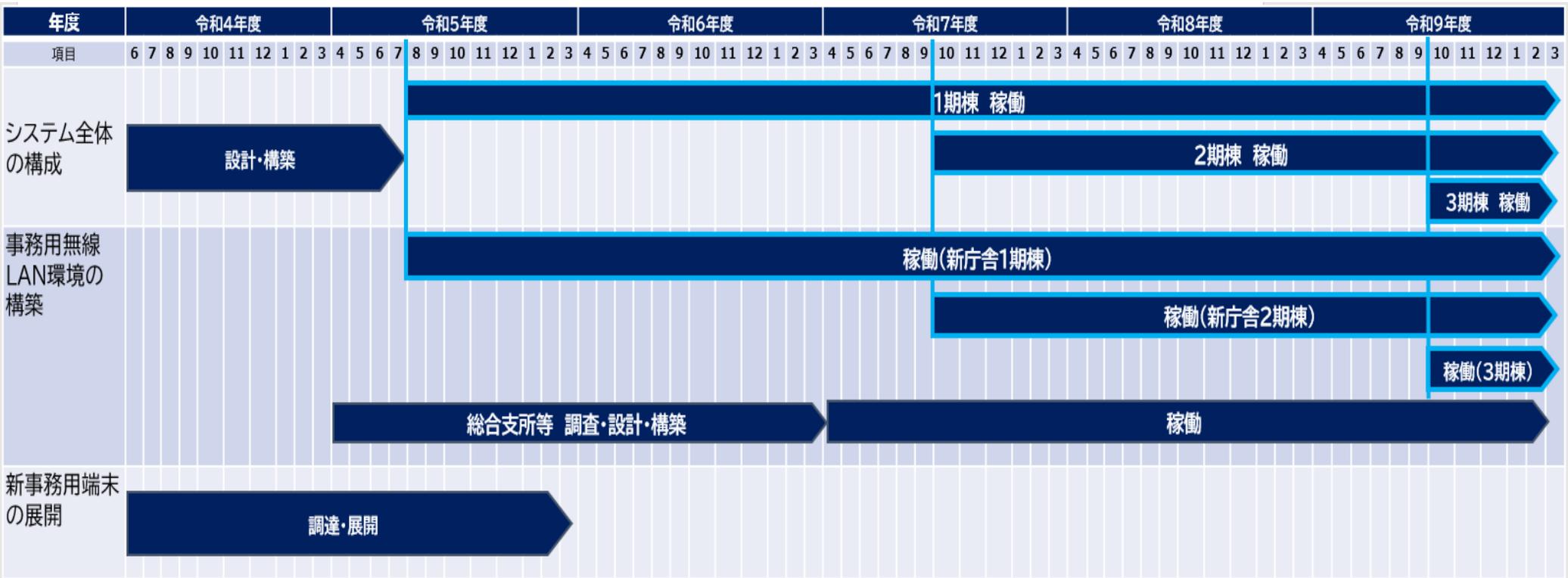
- インターネットVDIの起動を不要とし、インターネット閲覧時等の際、手早いインターネット接続を実現
- 現在のメール送受信による手間を軽減するべく、「メール無害化処理」、「大容量データの送受信」等の在り方を検討
- 令和5年8月から展開予定

(4) コミュニケーションツールの導入

- Teamsを導入し、チャット及びWeb会議の機能を活用し、業務のシーンに合わせたコミュニケーションの実現
- 新事務用端末の導入と併せ、令和5年1月から順次展開を予定

2. 事業スケジュール

- 新庁舎1期棟の竣工に合わせ、令和5年8月から次期情報化基盤を順次展開
- DX推進に向け、ICT環境を早期に整備するべく、新事務用端末のR5年度での調達を検討中



3. 次期情報化基盤におけるセキュリティ対策

- 総務省が掲げている、セキュリティ要件に準拠した、次期情報化基盤を構築
- セキュリティリスクを低減させるため、集中監視や分析を実施する体制を構築

総務省セキュリティポリシーガイドラインに準拠した、対策を実施

ネットワーク

- ✓ マイナンバー利用系と内部事務環境の分離を徹底
- ✓ 認証技術を用いた、アクセス管理を導入
- ✓ 回線経路の冗長化による、ICT-BCP対策

事務用端末

- ✓ 未知の脅威に対する早期発見と対応の実施
- ✓ 操作ログの監視

人的対策

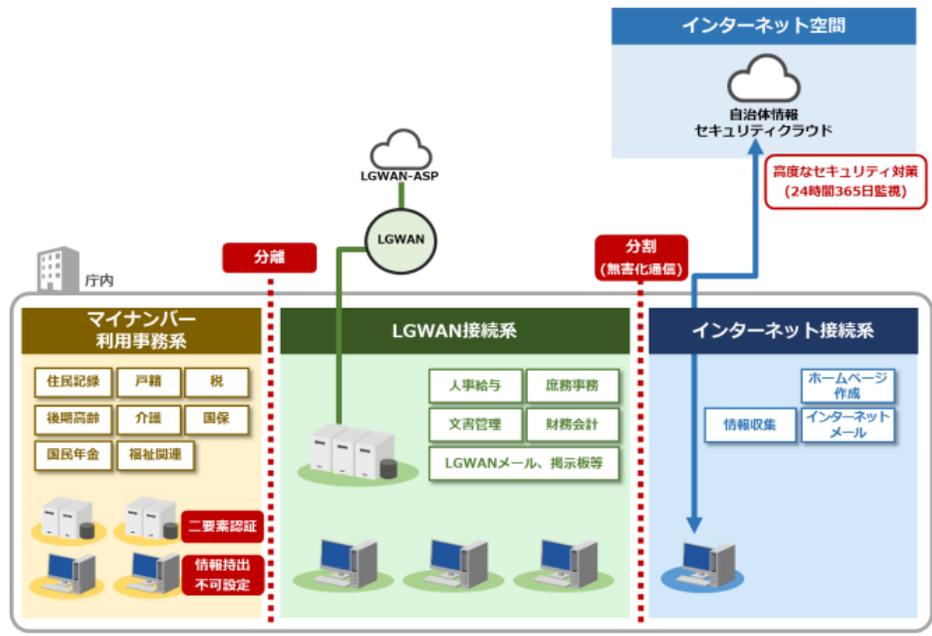
- ✓ 第三者による外部監査
- ✓ 職員への研修及び啓発
- ✓ インシデントの一元管理

集中監視と分析体制の構築(SOC)

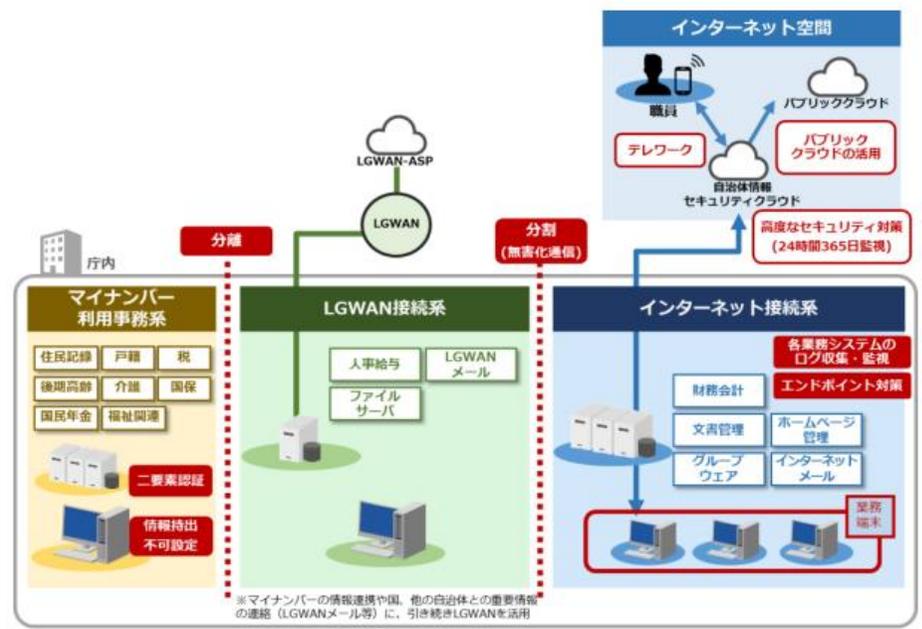
(参考) 次期情報化基盤 システム構成

※総務省が掲げるシステム構成から抜粋(実際の構成とは異なる場合があります)。

【現行】システム構成



【次期】システム構成(イメージ)



- LGWAN系を主な事務環境とし、業務内容に応じて、VDIを起動する必要がある。
- インターネットアクセスに時間を要し、クラウド利用等利便性及び拡張性に課題がある。

- インターネット系を主な事務環境とし、VDIの起動を最小限とする。
- クラウド利用等、利便性及び拡張性に優れている。